

当別の賑わい拠点を目指す ふれあい倉庫

ふれあい倉庫は、まちの賑わいづくり、文化活動の拠点として昨年4月にオープンし、地元産野菜の直売コーナー、イベントや各種発表を行える多目的な施設として多くの利用がありました。

今月号では、1年を経過したふれあい倉庫の姿を掲載します。

当別を味わえる～直売コーナー

直売コーナーのセールスポイントはなんといっても地元産の旬の野菜が手に入ることです。

現在は、町内の農業生産者31の個人および団体がふれあい倉庫に新鮮な野菜を出荷しています。また、どの生産者も低農薬に努め、安全安心で旬な農産物を毎朝届けています。

8月からは、トマトやきゅうりなどの野菜のほかに甘さたっぷりのメロンも登場し、たくさんの農産物を販売しています。目新しい野菜には、お料理レシピも添えられたり、米団子やトマトジュース、ソーセージなどの当別自慢の加工品なども揃っています。切花も日持ちがいいと評判です。

10月まで、月に1回朝市を開催しますのでお見逃しなく。



中山新吉さん(若葉)

朝もぎの野菜は
おいしいよ！

私のところでは、きゅうり、ブロッコリー、かぼちゃなどを出荷しています。

今までは、「当別産」という産地表示で市場に出していたのですが、ふれあい倉庫では、私の名前を出して売ることができるようになったので、少しでも新鮮でおいしい野菜を出すことを心がけています。

毎朝4時に野菜を収穫して倉庫へ納品しているのので、鮮度や甘みに自信を持っています。

当別のみなさんには、朝もぎの野菜を通して本来の野菜の味を知ってもらいたいと思います。

さまざまな活動の発表の場～カルチャーホール&多目的ホール



カルチャーホールは、大音響のスピーカーやステージ効果を高める多機能なスポットライトが備え付けられているほか、プロジェクターと大型スクリーンもあり、ホールがちょっとしたシアターにも変化します。

このような多種多様なホールで昨年4月のオープン以来、159回の利用がありました。

多目的ホールは、レトロな雰囲気レンガ壁に絵画、書道、パネルなどの展示、机を置いて彫刻などの作品を並べたりと、展示会場や発表の場としての空間を演出することができます。



アンサンブルファミリー

設備が整っていて
使いやすいです

私たちアンサンブルファミリーは、ふれあい倉庫がオープンしてから、週に2回練習に使用しています。

以前は、白樺コミュニティーセンターで練習をしていたのですが、この倉庫は、アンプ、ドラムセット、山台などの設備が整っていること、夜10時まで使用できることから、とても便利で利用するようになりました。

町内のほかの施設と比べると、料金が少し割高な感じがしますが、文化協会に加盟しているため、使用料が半額で利用することができます。

多くの方がこの場所で気軽にコンサートやイベントを開催して益々人が集まる場所になるといいですね。



当別町の賑わい・情報発信の拠点を目指して

町民に限らず、町の情報を求めて当別を訪れる様々な人が立ち寄ります。

観光場所や飲食店、街中の道順、町のイベント情報などを求める人に、正確で分かりやすく情報を提供し

ふれあい倉庫では、新しい試みが積極的に行われ、町民のさまざまな交流が活発に行われることが、駅前賑わいへとつながり、町の話題となり、町外へも広がっていきます。また、JR石狩当別駅前にある便利さから、

ていくことが大切と考えています。

「当別に来たらまずふれあい倉庫によってみよう」、「そこに行けば当別がわかる」といった場所になるよう、今後は、さらなる利活用を検討していきます。

また、直売コーナーを訪れた方の小さな情報が役に立つことがあり、情報収集の糸口につながります。

ふれあい倉庫は、訪れた方々とのふれあいを大切にこれからも、まちの顔としての役割を果たしていければと考えています。

▼担当 商工課 (☎ 23 - 3129)

ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)